

ワークショップ

□オリエンテーション

■ ワークショップとは

本来の意味は「作業場」、「工房」といった意味ですが、「参加者が討論・体験・作業などを行いながら、自分と異なる視点からの意見に耳を傾けながら、お互いの気づきを誘導し、対象となるテーマについての結論を見出していく会議形式です。

■ 参加する皆様へのお願い

ワークショップは、個人の意見を出し合い話し合いながらまとめていく共同作業ですので、次の点に注意しながら参加をお願いします。

- 意見はどんどん出してください。
- 自分と異なる意見については、その理由を聞いてみてください。
- 批判的な意見でなく、建設的な意見をお願いします。
- 作業はグループごとに行います。進行、記録といった作業は、メンバーで分担してください。

■ ワークショップは「若者がかがやくために必要なこと」を導くことが目的です

このワークショップでは、若い皆さんの視点から、日立市を舞台に若者が生き生きとかがやくために必要なことをまとめたいと考えて、委員会の一形式として企画しました。

第2回と第3回の委員会では、一人ひとりが多くの意見を出すとともに、他の人の話を聞きながら考えを深められるよう、ワークショップ形式で開催することとしました。

■ ワークショップは2回に分けて、若者が望む環境と実現する方策について検討します

ワークショップ形式での委員会は2回を予定しています。この中では、次のようなことについて考え方をまとめます。

【1回目 (11/18)】 ■若者が望む環境について

- 20年後、私たちはこうありたい
- 自分が暮らしていくために日立市はどうあって欲しい
- 若者が集まって生まれる賑わいとは

【個別ワーク (12/2 までに提出)】

- 若者がかがやく環境を作るための基本方針
- 若者がかがやく環境づくりの施策

【2回目 (12/17)】 (案) ■「個別ワーク」をもとにしたたたき台をもとに

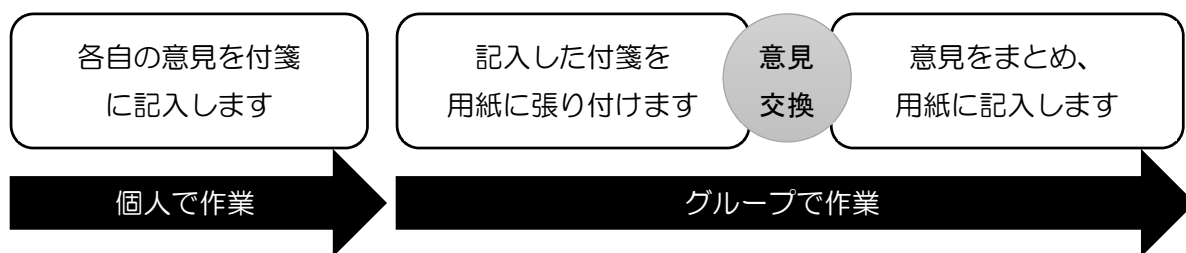
- 若者がかがやく環境を作るための基本方針
- 若者がかがやく環境づくりの施策

□本日の作業内容

1 各グループでの進行について

- ① グループごとにテーブルに着いたら、円滑に討議を進めるため、書記役、発表者を選出してください。
- ② 各テーマの討議を、進行役を中心に行って頂きますが、目安として次のような流れで進めて下さい。進め方は、各グループのやりやすい方法で進めて頂いて結構です。
- ③ まとめていただきたいテーマは以下の通りです。作業時間 90 分の中でまとめてください。
 - 20 年後、私たちはこうありたい
 - 自分が暮らしていくために日立市はどうあって欲しい
 - 若者が集まって生まれる賑わいとは
- ④ まとめる際には、お配りした模造紙を活用してください。
 - ※ 感染予防のため、模造紙に記載するのは書記役の方のみとしてください。
 - ※ マジックで記入しても結構ですし、付箋のままでも結構です。
- ④ 最後に討議結果を発表してもらいます。発表は、模造紙を活用してください。

【進め方（案）】



□タイムテーブル

時間・項目		内 容	
10:15~11:45	90 分	作 業	□各グループで作業
11:45~12:00	15 分	発表・講評	□グループ毎に作業結果を発表 □中島委員長・和田副委員長から講評

3. 作業シート

20年後、私たちはこうありたい

■こんな仕事や働き方がしたい

■ネットワークはこう作りたい

■こんな住まいや暮らし方をしたい

■出会いや結婚、子育てはこうしたい

自分が暮らしていくために日立市はどうあって欲しい

■日立という「都市」はこうあって欲しい

■若者に対して行政はこう関わって欲しい

若者が集まって生まれる賑わいとは（こんな賑わいを創りたい ※3つ程度）

【若者同士が交流して賑わいを創出するためには】

【若者が日立市内で賑わいを創るとしたら】

【若者が参加したくなるのはどんなイベント？】